

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ビジネス・コミュニケーション論(Business Communication Studies)		
ナンバリングコード	E20202	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 経営学
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	選択:経営経済学科 コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E049051	クラス名	-
担当教員名	阿部 裕香里		
履修上の注意、 履修条件	・ディベート、グループディスカッション、プレゼンテーションを実践的に行うため、コミュニケーションを積極的に行うことが必要となる。発言しないということはこの授業においては、原則認められないので、事前に留意し履修を行うこと ・履修者は、2年生と3年生に限定される ・履修者数が多い場合は、履修者を抽選もしくは経営組織論の履修者などにより選定する可能性がある		
教科書	中野美香(2010)『大学1年生からのコミュニケーション入門』、ナカニシヤ出版。		
参考文献及び指定図書	中野美香(2018)『大学生からのグループディスカッション入門』ナカニシヤ出版。 中野美香(2014)『大学生からのプレゼンテーション入門』ナカニシヤ出版。 堀 真由美(2017)『ビジネスコミュニケーション—グローバル社会におけるビジネス基礎力と運用能		
関連科目	経営組織論A、経営組織論B、経営学入門、経営学総論		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	コミュニケーション能力を高めることに関心を持ち、どのようにすれば相手に伝わるか、他者の意見を聞くことが可能か工夫を行うことが出来る	10点		10点
【知識・理解】	ビジネスで求められるコミュニケーションの基礎、ディベート、グループディスカッション、プレゼンテーションに関する知識を深めることが出来る	10点	10点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	取得した知識を用いディベート、グループディスカッション、プレゼンテーションを実践することで、知識と実践の能力を向上させることが出来る	10点		10点
【思考・判断・創造】	ビジネス・コミュニケーションに関する知識を修得し、実践するコミュニケーションについて思考・判断・評価を行うことが出来る。実践したコミュニケーションより反省や改善を行うことが出来る	10点	10点	10点

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）
各回での提出物、第5回、第6回のディベート、第8回、第9回、第10回のグループディスカッション、第13回、第14回、第15回のプレゼンテーションおよび期末試験の成績より到達目標の達成について評価を行う。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○基本情報							
授業の目的	ビジネス・コミュニケーション論では、特にビジネスで必要なコミュニケーションに関する知識やスキルの基礎的な知識を扱います。企業では、円滑にビジネスを行うために一般の生活とは異なるビジネス特有の「ビジネス・コミュニケーション」が必要とされます。近年、企業が採用選考時に最も重視する能力は、「コミュニケーション能力」と言われています。ビジネスで必要なコミュニケーションに関する知識と実際にディベートやグループディスカッション、プレゼンテーションの実践を行うことにより、学生のコミュニケーション能力の向上を目的とします。						
授業の概要	授業では、ビジネス・コミュニケーションに関する知識に関する講義形式とディベート、グループディスカッション、プレゼンテーションを実践する演習形式により構成されます。講義では、コミュニケーションの基礎、社会人の基本、議論の考え方、グループディスカッション、プレゼンテーションに関する知識やスキルについて講義を行います。演習形式の授業では、実際に講義で得た知識を元にディベート、グループディスカッション、プレゼンテーションを実施します。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「講義形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「ディスカッション、ディベート」</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「講義形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3) アクティブ・ラーニング	「ディスカッション、ディベート」
(1) 授業の形式	「講義形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3) アクティブ・ラーニング	「ディスカッション、ディベート」						
地域志向科目	該当しない						
実務経験のある教員による授業科目	該当しない						

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	ビジネス・コミュニケーション論(Business Communication Studi	授業コード	E049051
	担当教員	阿部 裕香里		
学修内容				
1. コミュニケーションの基礎				
近年、企業が採用選考時に最も重視している項目、それは「コミュニケーション能力」です。コミュニケーション能力を磨くためには、まず「コミュニケーション」とは何かを理解しておく必要があります。また、コミュニケーションに関する重要な要素として、自己理解と自分の考えを整理し伝えること、社会スキル、異文化理解についても学習していきます。				
予習	コミュニケーションやコミュニケーション能力とは何かについて現時点でのイメージをあげていきましょう			約2時間
復習	コミュニケーションの基礎を学習し、現在の自分に必要なスキルは何か考えていきましょう			約2時間
2. 社会人の基本1				
ビジネスにおけるコミュニケーションでは、まず社会人としての意識やマナーを学ぶ必要があります。社会人の基本として、第2回目の講義では、学生と社会人の違い、ビジネスマナー、仕事の基本意識、身だしなみの基本、挨拶・言葉遣いの基本を学習します。なぜビジネスにおいては、特有のコミュニケーションが必要なのか学習することで、アルバイトや就職活動、就職した際に実践することが可能です。				
予習	ビジネスにおけるコミュニケーションでは、何を心掛けるべきかアルバイトなど身近な事例より考えみましょう			約2時間
復習	身だしなみ、挨拶、言葉遣いについてどのようなコミュニケーションが適切か考えてみましょう			約2時間
3. 社会人の基本2				
第3回目の講義では主に社内でのコミュニケーションを扱います。社内においても、従業員同士が円滑に業務を進めるためにはビジネス特有のコミュニケーションが重要になります。PDCAサイクルやホウ・レン・ソウ、会議の参画、電話対応やビジネスメールの書き方などビジネス特有のコミュニケーションを学習します。				
予習	ホウ・レン・ソウとは何か、もしそれらが適切に行われなかった場合どうなるか考えてみましょう			約2時間
復習	担当教員へビジネスメールを想定し実際にメールを作成し、送信してみましょう			約2時間
4. 議論の考え方				
企業では、多くの会議において議論が行われその結果、意思決定が行われます。会議においては、適切な議論とその方法を知っておく必要があります。第4回目の講義では、議論の考え方や他者の意見を聞き評価する技術、自分の意見と他者の意見を比較する方法を学びます。				
予習	与えられた論題について、賛否両方の論点を出来るだけ多く出して箇条書きにしましょう			約2時間
復習	議論の考え方について学習した方法をまとめましょう			約2時間
5. ディベートの実践①				
第5回目の講義では、議論の考え方を学習した成果として議論の実践に知識を活かしていきます。議論の形式として、ディベートを取り上げます。ディベートのルールを説明するので、チームに分かれ実際にディベートを行っていきましょう。				
予習	論題「キャンパス内の喫煙を禁止すべき」に対して賛美両方の論点を出来るだけ多く出して箇条書きにしましょ			約2時間
復習	実際に行ったディベートに関して、よかった点と工夫すべき点をあげ、まとめましょう			約2時間
6. ディベートの実践②				
第6回目の講義は、第5回目の授業と同様ディベートの実践を行います。第5回に行ったディベートの反省を生かし、有意義な議論が行えるよう工夫し、ディベートを行います。				
予習	論題「死刑制度を廃止すべき」について、賛否両方の論点を出来るだけ多く出して箇条書きにしましょう			約2時間
復習	実際に行ったディベートに関して、よかった点と工夫すべき点をあげ、まとめましょう			約2時間
7. グループディスカッションのスキルと進め方				
グループディスカッションは、企業の議論でもアイデアや企画提案などの議論として実施され、また就職活動においても試験の一環として実施されています。第7回目の講義では、グループディスカッションのスキルと進め方を学習します。また、就職活動におけるグループディスカッションに関連して、キャリア形成や就職面接の準備についても併せて学習します。				
予習	コミュニケーション能力、学業、その他についてあなたの強みと弱みを分析してみましょう			約2時間
復習	自分のキャリア形成に対し、キャリア・アンカーを用い自己診断してみましょう			約2時間
8. グループディスカッションの実践①				
第8回目は、第7回目で学習したグループディスカッションのスキルを活かし、グループディスカッションの実践を行います。説明されたグループディスカッションのルールに従い、チームに分かれグループディスカッションを行います。				
予習	与えられた討論テーマについて事前に情報収集を行い、意見や反論を多く出して箇条書きにしましょう			約2時間
復習	実際に行ったグループディスカッションに関して、よかった点と工夫すべき点をあげ、まとめましょう			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	ビジネス・コミュニケーション論(Business Communication Studi 阿部 裕香里	授業コード	E049051
学修内容				
9. グループディスカッションの実践②				
第9回目は、第7回目で学習したグループディスカッションのスキルを活かし、グループディスカッションの実践を行います。説明されたグループディスカッションのルールに従い、チームに分かれグループディスカッションを行います。前回実施したグループディスカッションの反省を生かし、有意義な議論が行えるよう工夫し、グループディスカッションを行います。				
予習	与えられた討論テーマについて事前に情報収集を行い、意見や反論を多く出して箇条書きにしましょう			約2時間
復習	実際に行ったグループディスカッションに関して、よかった点と工夫すべき点をあげ、まとめましょう			約2時間
10. グループディスカッションの実践③				
第10回目は、第7回目で学習したグループディスカッションのスキルを活かし、グループディスカッションの実践を行います。説明されたグループディスカッションのルールに従い、チームに分かれグループディスカッションを行います。前回実施したグループディスカッションの反省を生かし、有意義な議論が行えるよう工夫し、グループディスカッションを行います。				
予習	与えられた討論テーマについて事前に情報収集を行い、意見や反論を多く出して箇条書きにしましょう			約2時間
復習	実際に行ったグループディスカッションに関して、よかった点と工夫すべき点をあげ、まとめましょう			約2時間
11. プレゼンテーションのスキルと進め方				
企業では、社内でのコミュニケーションの方法の1つとしてプレゼンテーションがあげられます。第11回はプレゼンテーションの構成やレイアウト、ストーリーなどのプレゼンテーションのスキルと進め方を学習します。				
予習	社会人基礎能力に関して高い項目と低い項目について自己分析を行いましょう			約2時間
復習	プレゼンテーションの構成、発表テーマについてアイデアを列挙し、決定しましょう			約2時間
12. プレゼンテーションのマネジメント				
第12回は、プレゼンテーションの資料作りや準備などプレゼンテーションを行う上でのマネジメントについて学習します。プレゼンテーションを行う上では、プレゼンの目標の設定、タイムマネジメント、説得力と自己分析、進捗状況の確認、相互評価が重要になってきます。				
予習	グループで事前準備を行うため発表内容の要約を作成しましょう			約2時間
復習	現在のプレゼンテーションの準備の状況についてマネジメントの評価を行いましょう			約2時間
13. プレゼンテーションの実践①				
第11回と第12回で実施したプレゼンテーションのスキルやマネジメントに関する知識を活かし、プレゼンテーションの実践を行います。各個人(履修者が多い場合はグループ)で作成したプレゼンテーション資料を元に発表を行っていきます。発表者以外は、プレゼンテーションについて評価を行ってもらいます。				
予習	発表するテーマについて情報収集し、プレゼンテーション資料を作成しましょう			約2時間
復習	プレゼンテーションの評価項目を再確認し、自分や他の人が実施したプレゼンテーションを評価しましょう			約2時間
14. プレゼンテーションの実践②				
第11回と第12回で実施したプレゼンテーションのスキルやマネジメントに関する知識を活かし、プレゼンテーションの実践を行います。各個人(履修者が多い場合はグループ)で作成したプレゼンテーション資料を元に発表を行っていきます。発表者以外は、プレゼンテーションについて評価を行ってもらいます。				
予習	発表するテーマについて情報収集し、プレゼンテーション資料を作成しましょう			約2時間
復習	プレゼンテーションの評価項目を再確認し、自分や他の人が実施したプレゼンテーションを評価しましょう			約2時間
15. プレゼンテーションの実践③				
第11回と第12回で実施したプレゼンテーションのスキルやマネジメントに関する知識を活かし、プレゼンテーションの実践を行います。各個人(履修者が多い場合はグループ)で作成したプレゼンテーション資料を元に発表を行っていきます。発表者以外は、プレゼンテーションについて評価を行ってもらいます。				
予習	発表するテーマについて情報収集し、プレゼンテーション資料を作成しましょう			約2時間
復習	プレゼンテーションの評価項目を再確認し、自分や他の人が実施したプレゼンテーションを評価しましょう			約2時間
16. 期末試験				
第1回、第2回、第3回、第4回、第7回、第11回、第12回で学習したビジネスコミュニケーションの基礎知識、ディベート、グループディスカッション、プレゼンテーションの知識から期末試験を行います。				
予習	第1回、第2回、第3回、第4回、第7回、第11回、第12回の内容を見直し、知識として定着させておきましょう			約2時間
復習	ビジネスコミュニケーションに関する知識を再確認し、実践に移していけそうな知識を使用していきます			約2時間